

9 - 1 九州地方とその周辺の地震活動 (1997 年 11 月 ~ 1998 年 4 月)  
Recent Seismic Activity in and around Kyushu District  
( November, 1997-April, 1998 )

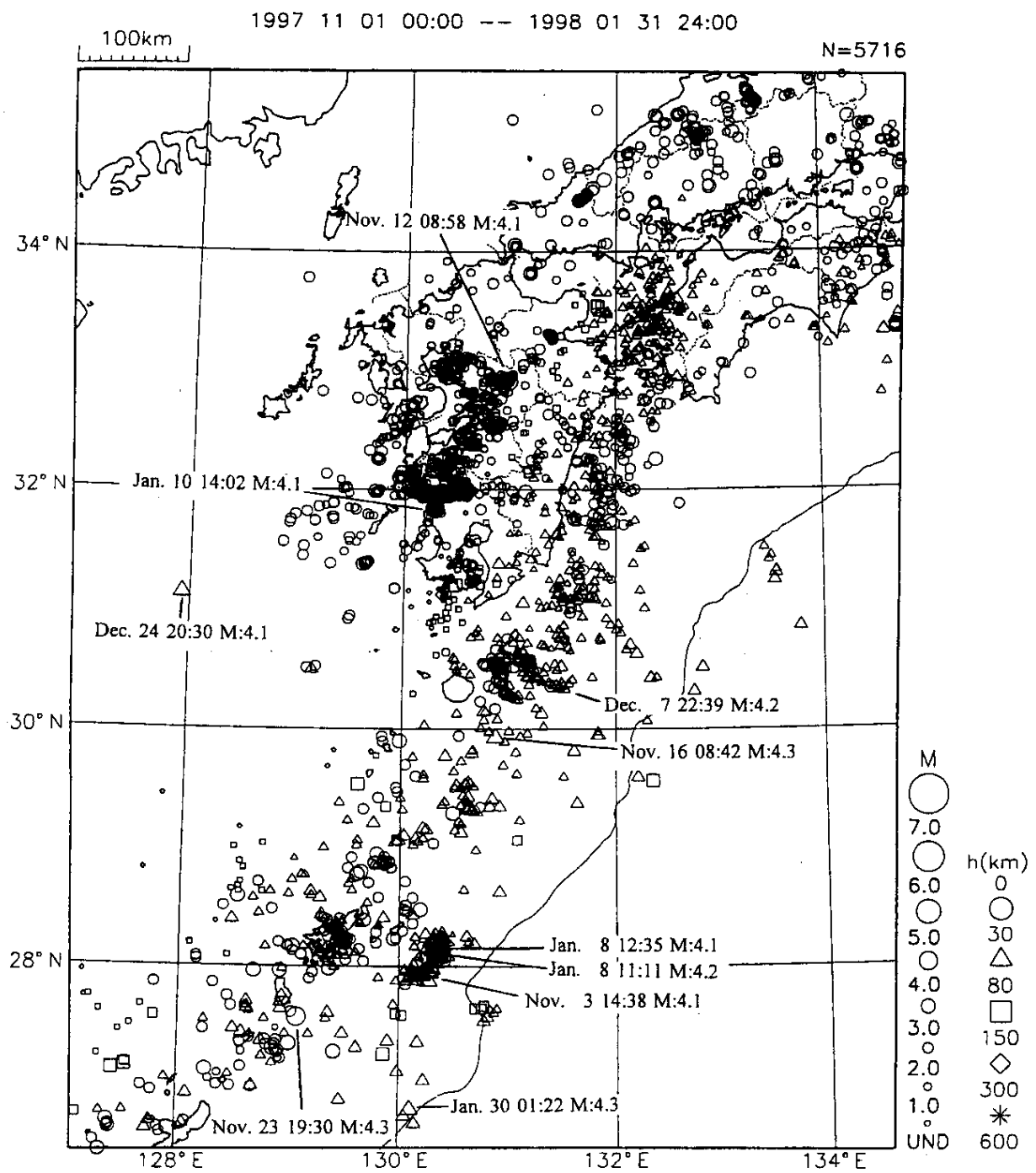
福岡管区気象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

1997 年 11 月 ~ 1998 年 1 月, 1998 年 2 月 ~ 4 月の各 3 ヶ月間の震央分布図をそれぞれ第 1 図(a)と(b)に示す。図の領域内で M4.0 以上の地震は, 合計 21 回発生し, 最大の地震は 3 月 2 日の奄美大島近海の地震で M4.6 であった。

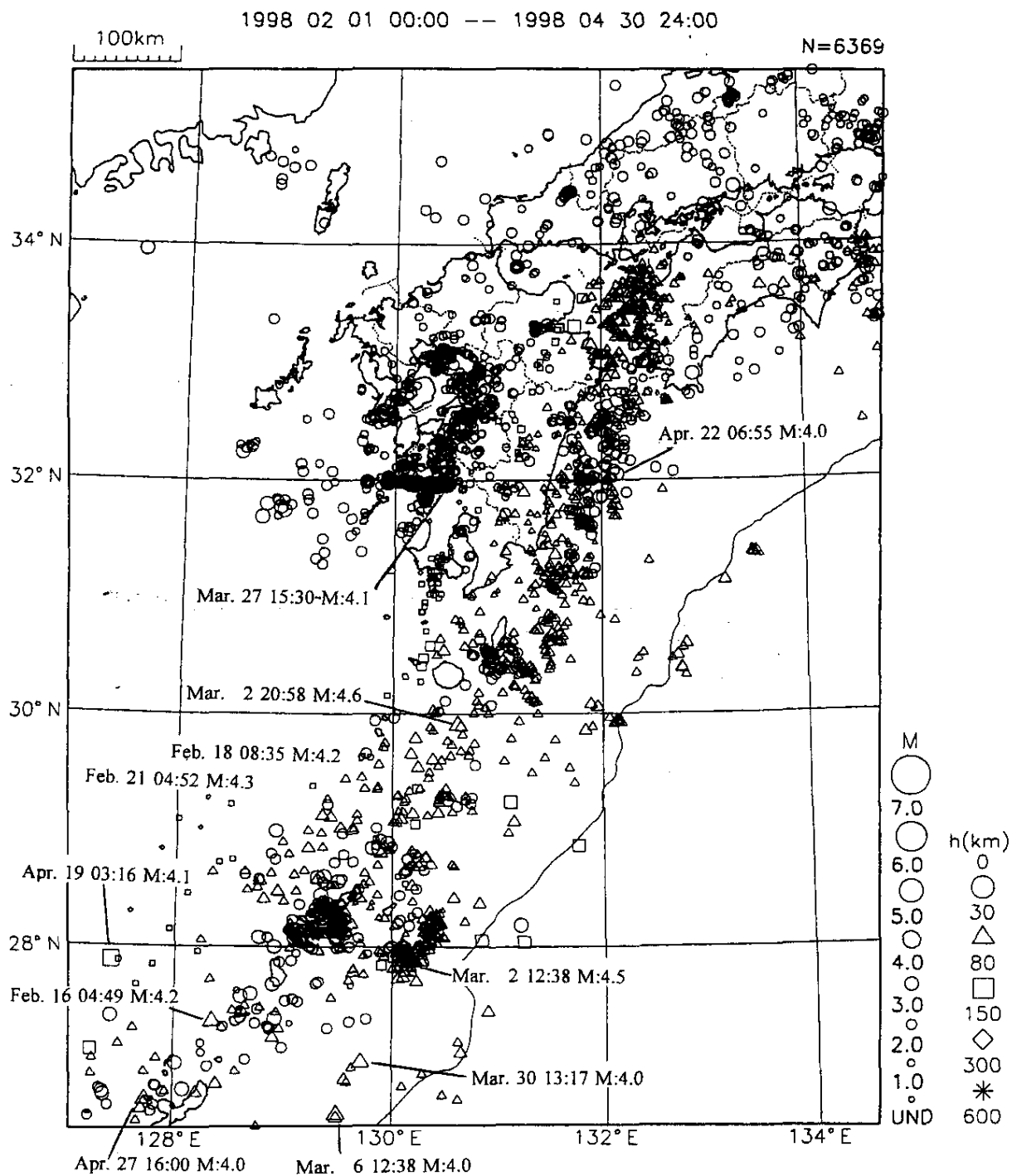
1997 年 11 月 12 日に熊本県阿蘇地方 (阿蘇山の西北西約 15km 付近) で M4.1 の地震 (深さ 12km) が発生し, 熊本市と白水村で震度 3 を観測したほか, 九州中部から北部にかけての地域で有感となった。その後 M 2 程度の余震活動があったが (最大 M3.3) 2 週間程度でおさまっている。本震は, 南北張力の場で発生した横ずれ断層型の地震である (第 2 図参照)。

鹿児島県薩摩地方では, 昨年 3 月 26 日及び 5 月 13 日以降活発な地震活動が続いており (別項参照), また, 最近やや規模の大きな地震の発生した奄美大島近海 (1995 年 10 月 18 日 M6.6, 同年 10 月 19 日 M6.5, 1997 年 1 月 17 日 M6.0), 種子島近海 (1996 年 9 月 9 日 M5.7, 同年 10 月 18 日 M6.2), 山口県北部 (1997 年 6 月 25 日 M6.3) でも, 引き続き活発な余震活動が見られた。奄美大島近海の地震活動の概要を第 3 図に示す。



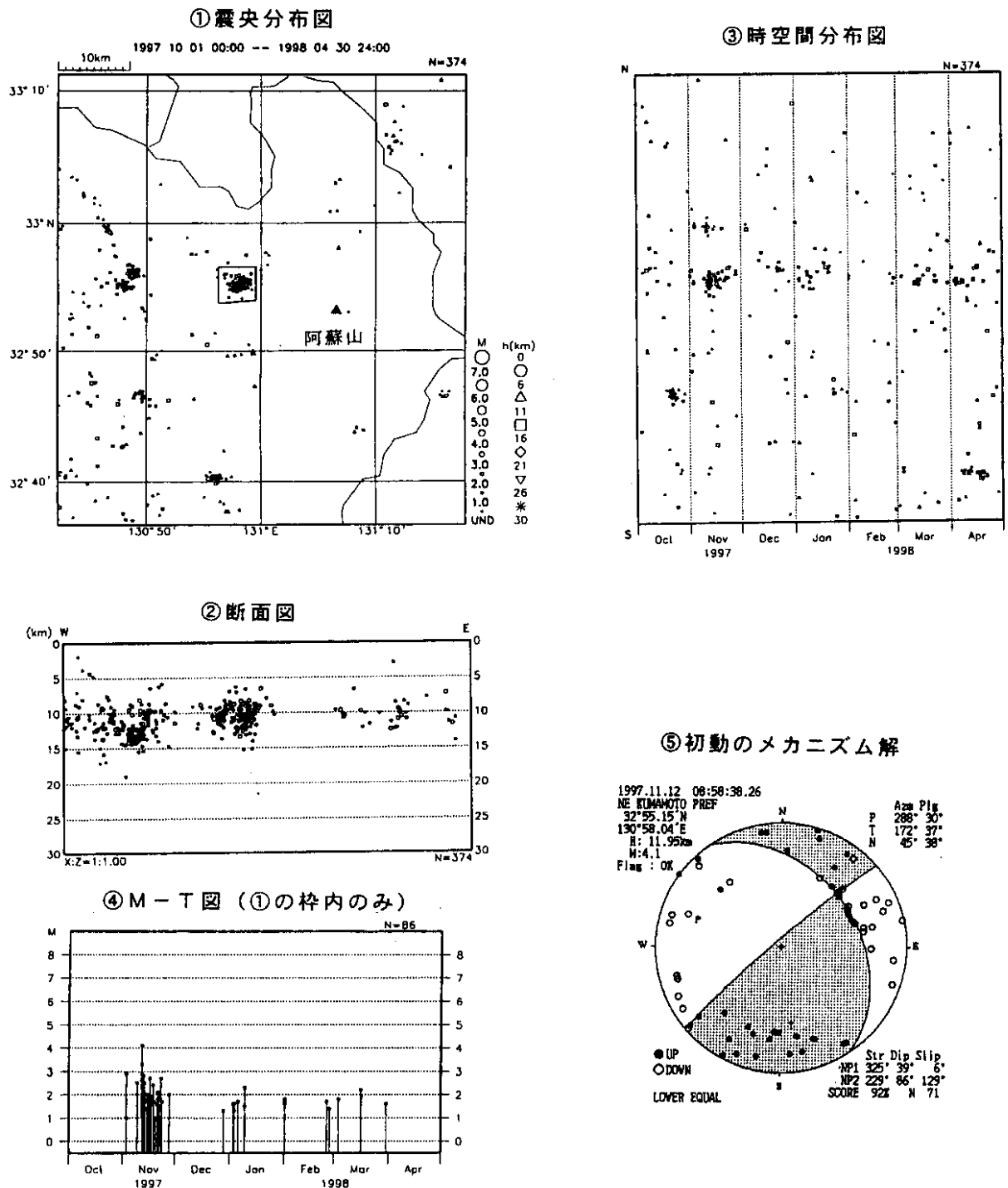
第1図 (a)九州地方とその周辺の震央分布図(1997年11月~1998年1月)

Fig.1 (a) Epicentral distribution in and around Kyushu District (November, 1997-January, 1998).



第1図 (b)九州地方とその周辺の震央分布図(1998年2月~4月)

Fig.1 (b) Epicentral distribution in and around Kyushu District (February-April, 1998).



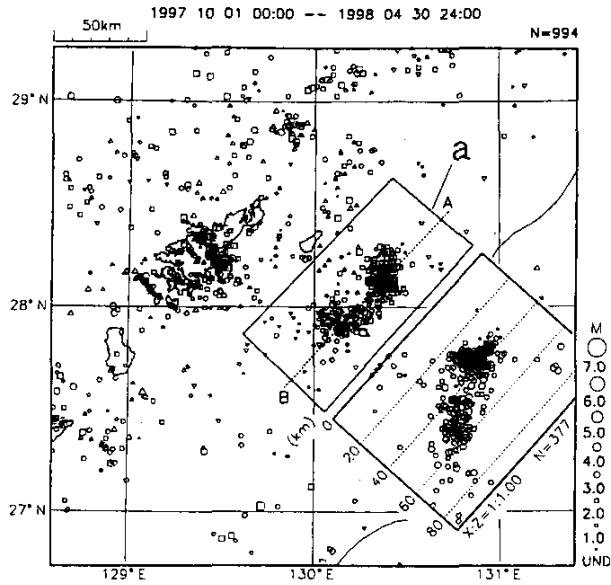
第2図 熊本県阿蘇地方の地震活動(1997年10月~1998年4月)

震央分布図 断面図 時空間分布図 M-T図(矩形内) 初動メカニズム

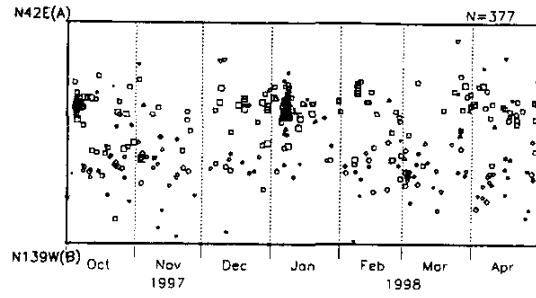
Fig.2 Seismic activity in Aso region, Kumamoto prefecture, (October, 1997-April, 1998).

Epicentral distribution, Vertical section, Space-time plots,  
M-Tdiagram (for in the rectangular area) Focal mechanism solution.

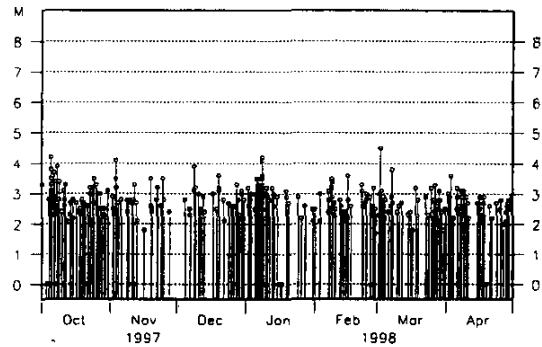
①震央分布図及び断面図(1997年10月～1998年4月)



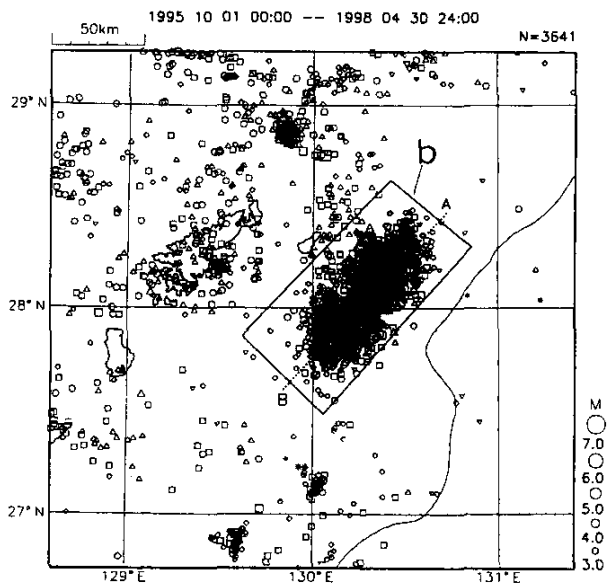
②領域 a の A - B 断面の時空間分布図



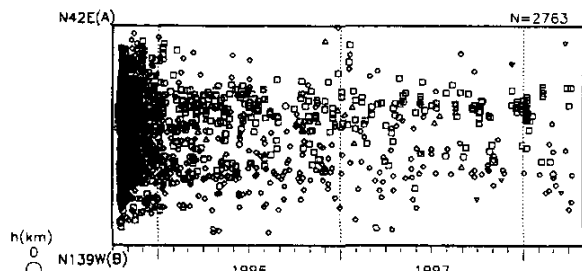
③領域 a の M - T 図



④震央分布図(1995年10月～1998年4月; M ≥ 3.0)



⑤領域 b の A - B 断面の時空間分布図



第3図 奄美大島近海の地震活動(1997年10月～1998年4月)

震央分布図および断面図 時空間分布図(領域 a) M - T 図(領域 a)  
震央分布図(M ≥ 3) 時空間分布(領域 b)

Fig.3 Seismic activity near Amami-Oshima Island (October, 1997-April, 1998).

Epicentral distribution and vertical section (region a), Space-time plots (region a),  
M-T diagram (region a), Epicentral distribution (M ≥ 3) Space-time plots (region b)